令和元年度　取組報告　　**富雄南中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像

**・学びを大切にする園児児童生徒**
**・仲間を大切にする園児児童生徒**
**・命を大切にする園児児童生徒**

取組目標

**豊かな心を育み、地域を大切にし、たくましく生きる力を持った子どもの育成をめざす学校支援活動の促進と地域全体で展開する美しく、安全・安心な繋がる地域づくり。**
・子どもも大人も生き生きできる地育
・結ぼう地域の絆「豊かな心、しなやかな学び、確かな安心」

今年度の取組紹介

◆地域防災・減災への意識を高める取組の一つとして、「防災フェスタ in 富南」の開催を継続していることで、生徒、児童の防災への意識も高くなり、地域との結びつきも強くなってきています。この取組で、地域の方との打ち合わせも生徒から意見が出るようになり、当日に運営スタッフとなった生徒たちは、個々が自分で考え動けるようになってきています。

また、近隣及び地域の団体に協力を依頼し、防災教育・防犯教育を通して社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てています。

今年は異常気象による水害対策として、「浸水体験」を開催。消防団より災害時の対処方法などを学びました。

◆小学生にもボランティア意識が高まり、防災フェスタでスタッフとして活躍してくれる児童が増えてきました。今年度は花苗の買い付け、値付け、販売までを経験し、経済の仕組みを学びました。◆昨年度同様、漢字検定を開催。家庭で親子が同じ目標を持ち、家庭での会話を持つ良い機会になりました。

今年度のまとめ

「防災フェスタ in 富南」を積み重ねてきたことで、子どもたちの防災への意識も年々高まり、自分たちがどのように動けばよいのかを自ら考える力も大きく身に付けてきています。また、防災フェスタで出会った方へのあいさつも増え、地域とのつながりも少しずつではあるが強くなってきています。

中学校区に定着してきたマスコットキャラクター「とみにゃん」を使っての校区産品を作ろうと生徒会やボランティアサークルが教員や地域と一緒に考案した産品も好評で、製品を安定して作る大変さを経験できました。

来年度に向けて

漢字検定の継続と、中学校で定着してきたボランティア活動を各小学校にも拡大し、自ら考え行動できることは勿論のこと、リーダーシップの取れる子どもの育成への取り組みを行っていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄南中学校運営委員会**

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**
**仲間を大切にする園児児童生徒**
**命を大切にする園児児童生徒**

取組目標　**子どもたちが地域とのつながりを意識できる**
**学習環境整備･取組を充実する。**

今年度の取組紹介

○ 地域人材の協力を得ながら実施している**キャリア教育事業**(福祉体験・職場体験学習等)は、子どもたちが将来の職業を考える指針となっています。ポスターセッションではご協力いただいた地域の方々や保護者に参観いただくこともできました。地域の方々の協力により、生徒たちの表現力とコミュニケーション力を高める機会をつくることができています。
また、今年度は新事業として、**放課後等学習支援事業**をスタートしました。夏季休業期間や定期テスト前に設定した『とみにゃん学習会』に、多くの子どもたちが参加しています。**教育活動支援事業**(情報教育支援・特別支援教育支援等)も継続支援いただいています。

○ 中学校区地域教育協議会の**自主的行動促進事業**としての『とみにゃんコンサート』、『防災フェスタ in 富南』といった協議会主催行事に、多数の生徒や教職員が部活動単位で協力および積極的に参画しており、地域との協働体制が定着してきています。
また、吹奏楽部やギター・マンドリン部への地域からの演奏要請も増加し、本校運営委員会としての**地域交流事業**が広がりをみせており、学校・地域双方の活動理解につながっています。

富南焼
カスタード入りです!

今年度も『防災フェスタ in 富南』で、地域ボランティアサークル「とみにゃんクラブ」の生徒たちが《富南(とみにゃん)焼》を調理し、《とみにゃんせんべい》とともに販売することで地域キャラクター「とみにゃん」を広報できました。本校の生徒が作詞・作曲した『とみにゃんの歌』も生徒が**キャリア教育事業**の職場体験で披露する等、幼小中連携のもと、中学校区の子どもたちが「知っている歌」になってきています。地域キャラクター「とみにゃん」の知名度は着実に高くなってきており、「とみにゃん」とともに地域の子どもたちがつながり、成長しています。小学生ボランティアの「とみにゃんＫＩＤＳ」の体験やコミュニケーション能力が、中学生の「とみにゃんクラブ」の活動を経て地域活動の担い手につながっていくことを願っています。

○ **環境整備・栽培事業**では、人的・物的支援をいただき地域の「花いっぱい運動」と生徒会活動、「とみにゃんクラブ」の活動により、温もりのある美しい学習環境づくりを進めることができています。ＰＴＡ･地域合同清掃活動をはじめ、トイレ環境整備にもご協力いただき協働実施することができました。

今年度のまとめ

地域行事や地域教育協議会主催の行事への協働体制が定着してきており、事業の取組が地域と生徒・学校、双方向の活性化、地域活動・学校活動それぞれの活動の認知や理解につながってきています。本校生徒作詞作曲の『とみにゃんの歌』の広報も園小中連携を示す取組となっていました。
また、本校のめざす「美しい学校」づくりは本事業の地域の支えによる環境整備により充実推進できています。ただ本校に必要な教育活動支援や環境整備支援等の人材確保はまだまだ難しいのが現状であり、今年度スタートした『とみにゃん学習会』の運営方法も検討の必要があります。

来年度に向けて

地域とともに子ども達を育成する視点を大切に、諸協働活動、キャラクターを活かした広報活動等の取組等により、子ども達の「自尊」「他尊」「地尊」の心と主体的に行動できる力を育てていきたいと思います。ホームページ等の情報発信も、さらに充実していきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄南小学校運営委員会**

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**
**仲間を大切にする園児児童生徒**
**命を大切にする園児児童生徒**

取組目標　**・読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる**
**・地域の方々とのふれあいを通して、コミュニケーション能力を高める**

今年度の取組紹介

本校はこれまで、地域の特性を生かした体験活動を実施することにより、地域のかたとのふれあいを通して豊かな人間性の育成を図ってきました。自分たちが生活する地域社会と積極的に関わり、体験活動を通して学ぶ楽しさを味わうことが、地域を愛する心やより良い生き方・考え方を身につけることができると考えました。

地域の方の人材を生かした野の花ぶんこ読み聞かせ事業として、絵本読み聞かせ体験を設定

全学年全学級および特別支援学級（学習室）で、地域の方を迎え、情操力の向上を目指して、野の花ぶんこ絵本読み聞かせ事業を行いました。毎学期１時間ずつ全ての学級で、地域の野の花ぶんこの方々が、それぞれの学年の実態に即した絵本を読んできかせてくださり、児童は、とても楽しみにしています。教卓の上にろうそくをのせて、その火をつけたり消したりすることで、幻想的な雰囲気もつくっていただいています。子ども達は「絵本が好きになった。」「次のお話は、どんな話かな。早く聞きたい。」など、本に対する親しみがわき、表現能力の向上につながっています。また、本校では、たくさんの保護者の方に来ていただく絵本読み聞かせ事業（ファンタジータイム事業）も行い、学校全体で絵本に親しむ様々な取組を行っています。

今年度のまとめ

「地域の環境を生かした体験活動」「読書環境の充実」「校内および地域の環境整備事業」「楽器演奏体験やお茶の体験など地域の人材を生かした学習」「放課後学習の充実」を柱に、学校・保護者・学生・地域が協働して様々な取組を推進してきました。どの取組でも、ボランティアの方々に多大のご苦労をいただいたが、事後、どの方も「学校に来て、子どもに元気をもらった」等の肯定的なご意見を多数いただいています。また、児童からも「大学生のお姉さんにやさしく宿題を教えてもらい、よくわかった。」「昔遊びを教えてくれたのは、近所のおじさんです。」等の話を聞くことができました。児童に自分が住む地域への関心を深め、地域の中で生きているという意識を持たせることができました。地域の方々が学習活動に参加していただくことで、本校教育への理解を深めていただくことができました。

来年度に向けて

あたえられた環境の中で、活動内容を深化発展させるとともに、地域の方々との絆をさらに深め、ボランティアおよびコーディネーターの人材発掘も今年度以上に積極的に進めていく必要があります。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立三碓小学校運営委員会**

めざす子ども像　**・学びを大切にする園児児童生徒**
**・仲間を大切にする園児児童生徒**
**・命を大切にする園児児童生徒**

取組目標　体験　発見　創造ひろがる「三碓学習」
児童の豊かな感性を醸成する
～学習環境の整備・充実　地域の方々と連携し本物にふれる体験を～

今年度の取組紹介

「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓（なら）の祭り」「むかしあそび」「伝統文化～書道」「人権と平和」「米作り」など各学年で、テーマに基づき、様々な本物に触れる活動を行いました。これも長年本校を支えてくださる地域の方々のお蔭です。

児童の「なぜ？」から環境問題に対する課題を設定し、地元を流れる富雄川に目を向け、様々な人と関わって水質を調べたり水生生物を捕獲し飼育したりして、それらをまとめ、自分たちができる環境の守り方を相談し交流することができました。児童の疑問は専門的な知識や技術が必要なこともあり、様々な専門分野の方々のご協力を得、児童は本物を体験することができました。他にも、書道の指導者・獣医師会の先生方・昔遊びの達人(地域のお年寄り)など、多くの方々に実体験をさせていただきました。

また、豊かな感性や情操を育む事業として、1年を通しての「図書ボランティア」読み聞かせ活動と「校内緑化」事業を継続し、新たに「校内環境整備」事業を始めました。

今年度のまとめ

「学び」「仲間」「いのち」を大切にする感性豊かな子どもを育成することは、本校保護者をはじめ地域の方々の強い願いです。様々な専門性をもった方々との出会いから、新たな人とのつながりが生まれました。地域を愛する方々とともに本物を体験した児童は、「みつがらす」を愛し、郷土ならに誇りをもつことができました。ボランティアの方々と進めてきた「校内緑化・環境整備事業」が根付き、今年度は学年を超えた子どもたちが自ら企画・作業を行い、新しく畑や花壇・寄せ植えを作り、育てました。子どもたちが「主体的に生きる」取り組みを行うことができました。

来年度に向けて

児童の自発的な思いに寄り添ったテーマを設定し、本物体験ができる「環境」と「人」を提供できるのかが今後の課題です。そのためにも、コーディネーターさんとの密な連携が重要です。次年度は、さらに校内緑化事業や三碓学習などの事業を推進し、「学び」「仲間」「いのち」を大切にできる児童を育てたいです。来年度も今年度からの継続で、校内整備事業（壁面のペンキ塗り）に取り組んでいきます。さらに地域の方の支援をいただきながら、子どもたちとともに行っていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄南こども園運営委員会**

めざす子ども像　**・学びを大切にする園児児童生徒**
**・仲間を大切にする園児児童生徒**
**・命を大切にする園児児童生徒**

取組目標　**ぐんぐん　伸びよう　笑顔　いっぱいタイム**

今年度の取組紹介

・園庭にある“わくわく畑”で、その時期の作物や野菜を育てています。種まきをしたり苗を植えたり、水やりや草抜きをしたりしながら大切に世話をすることで、収穫の喜びも格別で、苦手な食べ物にも挑戦して食べようとする姿も見られるようになりました。栽培活動では、地域の方が度々気にかけてくださっています。収穫がスムーズにできました。お世話になった地域の方を給食の時間に招いて、一緒に収穫したサツマイモをふかして食べる機会を持ち、親しみを深めることができました。

・サッカー教室では、サッカーボールを蹴って走るだけではなく、ボールに片足をおいてバランスを取ったり、用具を使ってケンケンパーをしたりして、体幹を育てるための運動を取り入れてくださいました。また試合をすることで簡単なルールを守って遊ぶ楽しさを感じることができ、進んで体を動かすことの心地よさを教えていただきました。４・５歳児は年２回経験し、来てくださるコーチにも親しみを持ってかかわる姿が見られました。

今年度のまとめ

・サッカー教室やキッズイングリッシュ、運動遊び（みんなであそぼう）の講師の方々や、畑の手伝いをしてくださっている地域の方々にきていただき、いろいろな人とのふれあいを通して愛情を感じたり親しみをもったりすることができました。自分から挨拶をしたり話しかけたりする等、人とかかわる力やコミュニケーション力が育ってきています。

・栽培活動では、生長の過程を子どもたちと共に見たり世話をしたりすることで、収穫への期待が膨らみました。手間暇をかけ栽培物を育てる経験をして食べることで食育に繋がり、食することの喜びを味わい、一緒に世話をしてくださる地域の方と感動体験を共有することができました。

来年度に向けて

・健やかな心と体の育成に向けて、活動内容や方法の見直しと工夫を行います。定期的に指導講師の招聘や、地域の方の協力も得ながら、これまでの取り組みを継続してさらに様々な体験を積み重ねていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立三碓幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

## 学びを大切にする園児児童生徒
## 仲間を大切にする園児児童生徒
## 命を大切にする　園児児童生徒

取組目標

**さまざまな経験、体験を積むことにより「豊かな心」「やる気」を育み「しなやかな身体の育成を行うことにより、「生きぬく力」を身につけさせる。**

今年度の取組紹介

地域の高齢者クレインクラブやグリーンクラブの方々と交流する機会をもちました。「奈良の大仏様」や肩たたきなどふれあい遊びをしました。おじいちゃんやおばあちゃん達に「気持ちいいね」、「ありがとう」と喜んで頂きとても嬉しそうな表情の子ども達でした。また、お手玉や、コマ回しなど昔あそびなども教えてもらいました。紐の巻き方、コマの投げ方など手を添えて教えて頂き、成功すると自分の事のように一緒に喜んで下さいました。

『お茶会』では年間 3 回講師の先生に来ていただき、お茶の作法や点て方などを教えていただきました。初めてのお抹茶の味になじめない子どももいましたが回を重ねるうちにその美味しさに気づき始めたようでした。お茶会では飲んでくれる友達やお母さんの事を思って「おいしくなあれ」と気持ちをこめてお茶を点てました。お茶の世界を通して日本の文化である相手をおもてなしするという事を学びました。

今年度のまとめ

様々な体験を計画的に積み重ねてきた事で子ども達の生活体験を広げる事が出来ました。お話の会では子どもが入園してから卒園まで二年間お世話になっています。初めは、最後まで坐って話を聞く事もままならない子ども達も、お話の会の方々の温かさや、お話の魅力にふれ卒園する頃にはお話の大好きな子ども達に育ち、話を聞く力も備わってきたように感じます。この事は、お話の会の方々からもお褒めいただく事が出来ました。

来年度に向けて

来年は年少児の入園が少なくなりさらに小規模園になります。今後も、地域の方々の協力を頂きながら、事業の継続を行い、内容を見直しながらさらに充実していきたいと思います。そして、人とのふれあいを大切にしながら「しなやかな身体」の育成をめざし、「生き抜く力」を身に付けていけるように取り組んでいきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立学園南こども園運営委員会**

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**

**仲間を大切にする園児児童生徒**

**命を大切にする園児児童生徒**

取組目標　**人や自然との豊かなふれあいができる環境を整え、地域とのつながりを感じられる取り組みを行っていく。**

【今年度の取組紹介】

JA の方にご指導いただきながら、一年間を通してお米作りをしてきました。プールの田んぼの土を整える「しろかき」に始まり、「田植え」「稲刈り」「脱穀・精米」と、活動を続け、最後にご飯を炊いて「おにぎり作り」まで体験しました。稲を観察する力、お米をありがたく思う心が育ってくれたと思います。

音楽療法士の方に来ていただき、音楽に合わせてリズムにのり、踊ったり楽器を鳴らしたりして、友達と心通わせて心地よい時間を過ごしました。ミュージック・ケアのセッションを通して、気持ちを開放し、一人一人を受け止めてもらう体験は、「自分も友達も好き」という気持ちのねっこが育つ時間だったと思います。

人や自然とのふれあいから、子ども達は様々なことを学んでいます。

【今年度のまとめ】

一年間を通して、地域の方にご指導いただき野菜栽培事業、稲作事業に取り組んできました。田んぼや畑で土の感触を楽しみ、野菜や稲を観察して生長に驚き、虫を見つけて大騒ぎし、収穫した野菜を味わい、五感を十分に使って活動しました。運動遊び事業や読み聞かせ事業では、講師の先生から普段できない体験をさせてもらい、「おもしろーい」「もっとしたーい」と、心がワクワクしている様子でした。集団として、地域の方とふれあう中で、集会でのマナーや講師やボランティアの方に対しての礼儀も自然と身に付けることができたと思います。防災事業やコンサートなどで、中学校区の方々とふれあえたことも豊かな経験となりました。

【来年度に向けて】

園舎・園庭の工事も終わり、豊かで整った環境を最大限に利用し、園の活動として大切にしている野菜栽培やお米つくりを異年齢で取り組んでいきたいと思います。その中で、地域の方とのつながりを広げていけるよう、取り組み方を工夫していこうと思います。また、新たな世界に挑戦できるような取り組みも考えていく予定です。